

## 《課題名》

消化器癌における細胞接着因子の臨床的意義に関する検討

## 《研究対象者》

西暦 2005 年 4 月より 2015 年 3 月までに、滋賀医科大学消化器外科において消化器癌（胃がん、大腸がん、膵がん）と診断され、手術を受けた方

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報（及び生体試料）を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接説明をご希望される方は文書による説明を行いますが、直接説明が困難な方に対しては、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

### （１）研究の概要について

研究課題名：消化器癌における細胞接着因子の臨床的意義に関する検討

研究期間： 滋賀医科大学学長承認日（2020年 03 月 09 日）から 2024 年 3 月 31 日まで

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 《所属》外科学講座 《氏名》谷 眞至

### （２）研究の意義、目的について

#### 《研究の意義、目的》

この研究の目的は、クロードイン 6、クロードイン 9、セクレチンなどの細胞接着因子に着目し、消化器癌（特に胃がん、大腸がん、膵がん）における働きや機能を明らかにすることです。がん細胞同士の接着は、がん細胞の浸潤や転移に重要であることがわかっていますが、これらの接着因子が消化器癌でどのような働きをしているかは十分にわかりません。この研究で消化器癌における接着細胞因子の機能が明らかとなれば、将来的には細胞接着因子を標的とした診断試薬や、治療薬の開発につながる可能性があると考えられます。

### （３）研究の方法について

#### 《研究の方法》

この研究では、研究に参加された方の診療情報を用いて研究を行います。

カルテから収集する具体的な診療情報は以下の通りです。

患者さんの背景：年齢、性別、身長、体重、既往歴

血液検査の結果：貧血の有無、栄養指標、腫瘍マーカーの変化

手術の内容：術式や手術時間、出血量

採取した組織や臓器の情報：消化器癌の組織型やリンパ節転移の有無、ステージ分類

また、この研究では診断や治療のために既に採取・保存されている組織や臓器を一部使用します。これらは、パラフィンという半永久的に保存できる専用の固定液で保存されています。固定された組織および臓器の一部を薄くスライスし、特殊な染色を行うことでクロードイン 6、クロードイン 9、セクレチンなど

の細胞接着因子の発現状態を評価します。

#### (4) 個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

#### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

#### (6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

#### (7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用(又は他の研究への提供を)停止することができます。停止を求められる場合には、(西暦2024年3月31日までに)下記(8)にご連絡ください。

#### (8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 外科学講座 安川 大貴

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2238

メールアドレス：[hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp)